

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①課題解決能力、プレゼンテーション能力を伸長する教育課程編成や組織的な授業改善に取り組む。</p> <p>②学校行事の企画・運営を生徒主体のものとし、生徒の社会性と実践力の向上を図る。</p>	<p>①アクティブ・ラーニング (AL) の視点を踏まえた授業研究と実践および教育課程の見直しを進める。</p> <p>プログラミング教育研究推進校として地域の学校への情報発信に取り組む。</p> <p>②学校行事の内容・ねらいを整理し、さらなる充実に取り組む。</p>	<p>①教員向けAL研修会を開催し、ALを導入した生徒主体の授業を全教科科目で計画的に実施する。</p> <p>大学入試改革を意識した教育課程の編成を行う。</p> <p>プログラミング教育推進のための職員向け研修会と公開授業を実施する。</p> <p>②生徒主体の学校行事の見直しと、年間授業時数の確保を行う。</p>	<p>①実施後、教員の理解が深まり実践につながったか。</p> <p>教育課程の編成ができたか。</p> <p>校内への共通理解と地域の学校への情報発信ができたか。</p> <p>②行事の見直しとともに年間授業時間数の確保ができたか。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>①生徒一人ひとりのニーズに応じた支援のため、教育相談コーディネーターを核とした生徒支援体制の構築に努める。</p> <p>②部活動の活性化をととして社会性の育成を図る。</p>	<p>①支援教育の推進について職員全体で理解を深め、支援が必要な生徒への対応策を共有化する。</p> <p>②地域の行事への部活動の積極的な参加を図ることで社会性を育成する。</p>	<p>①支援教育について職員向けの実践的研修会を開催する。</p> <p>学年単位の教育相談体制を充実し、ケース会議等により個別の生徒の状況を共有化する。</p> <p>②地域と部活動の交流の機会を充実する。</p>	<p>①実施後、教員の理解が高まったか。</p> <p>学校全体で、個別の生徒の状況を共有し、課題解決につなげたか。</p> <p>②地域の行事に参加できたか。</p>					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	①進路指導の充実を図ること で、生徒が自らの将来を積極的に開拓し、実現につなげる能力を育む。	①入学段階から自らのキャリアを意識させるための体系的な取組みの充実を図る。	①インターンシップ等体験的・実践的活動への情報を提供し、参加を促進する。 総合的な学習の時間を活用して将来を考える動機づけからはじまる計画的なキャリアプログラムを構築する。	①インターンシップや各種講演会等への積極的な参加ができたか。 計画的なキャリアプログラムへの働きかけができたか。					
4	地域等との協働	①地域や関係機関の教育力を生かした連携を推進し、地域に開かれ、地域に信頼される学校づくりを進める。	①安心・安全を主眼とした活動をとおして、地域や関係機関との協働・連携を深める。	①関係機関と連携した計画的な交通安全教育を推進する。 関係機関と連携し、ICTを活用した防災教育を推進する。	①生徒の交通安全に対する意識が高まり、交通事故被害件数が昨年度より減少したか。 生徒・教職員の防災意識が高まり、行動につながったか。					
5	学校管理 学校運営	①職員一人ひとりが意欲と責任をもって安心安全な環境づくりに取り組み、課題解決に向けて積極的に取り組む学校文化を形成する。	①校内業務における事故防止に向けた体制作りを進める。 グループ業務の検証を行い、機動力のある組織の再構築を進める。	①事故の未然防止に向けて、演習形式を取り入れた実践的な研修の機会を充実する。 グループ業務全般の見直しを行い、グループを再編成する。	①事故不祥事防止研修の実施回数および職員の理解を高めることができたか。 グループの再編成により、業務の効率化ができたか。					